



日本の宝島“天草”の創造を目指して！

天草

市政だより

潮風香る倉岳路を走る！！

倉岳えびすマラソン大会

主な内容

- 平成24年度 決算報告
- 事務事業評価を行いました
- 市・県民税の申告が始まります
- 閉校記念シリーズ ありがとう。わが母校

平成26年

2/1

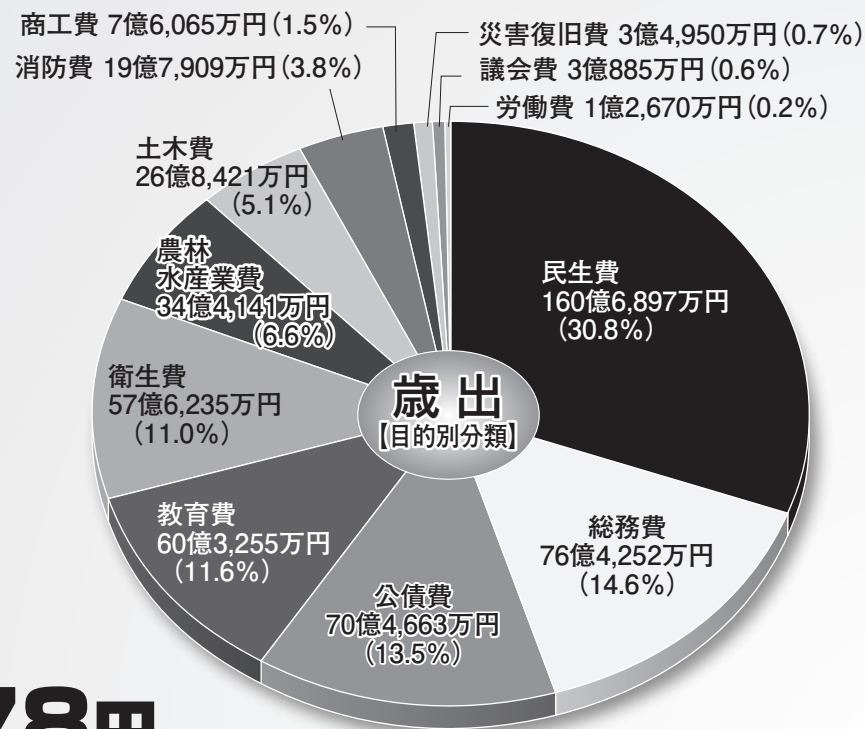
No.188

歳出総額 522億343万円

歳出のトップは民生費

普通会計の歳出の決算額は、522億343万円となりました。目的別で見ると、いちばん多く使われたのは民生費で、160億6,897万円（30.8%）。続いて総務費、公債費、教育費、衛生費の順となっています。性質別では、人件費や扶助費などの義務的経費が、261億6,263万円（50.1%）となっています。

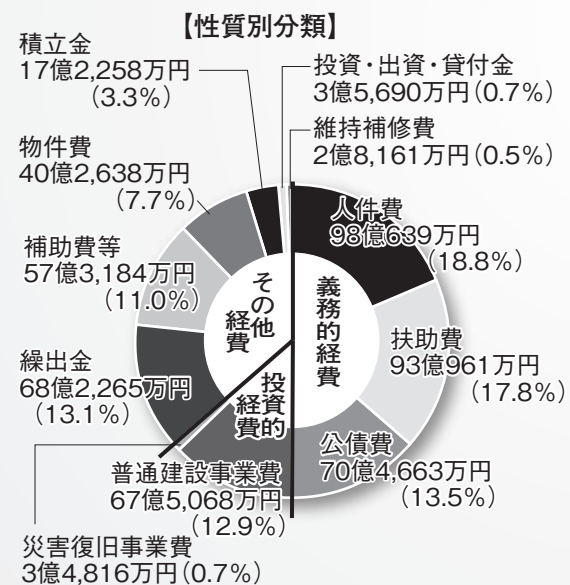
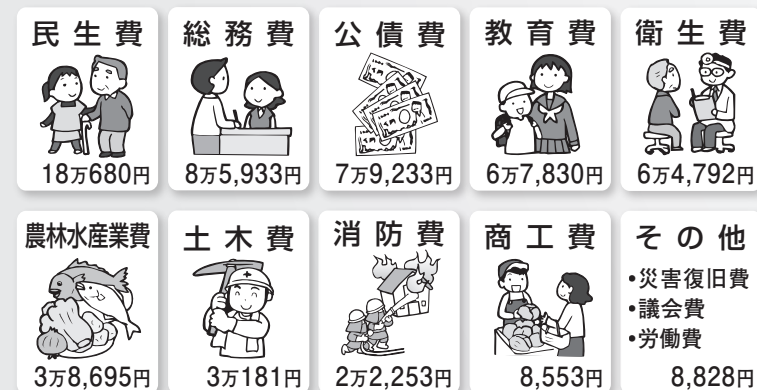
なお、歳出の詳細については次ページに掲載しています。



歳出を市民1人当たりになると

58万6,978円

普通会計の歳出を市民1人当たりで換算すると、58万6,978円を使ったこととなります（平成25年3月29日現在の住民基本台帳8万8,936人で計算）。市税の収入は市民1人当たり8万3,979円ですから、不足する50万2,999円は地方交付税や国庫支出金、県支出金などで補っていることとなります。



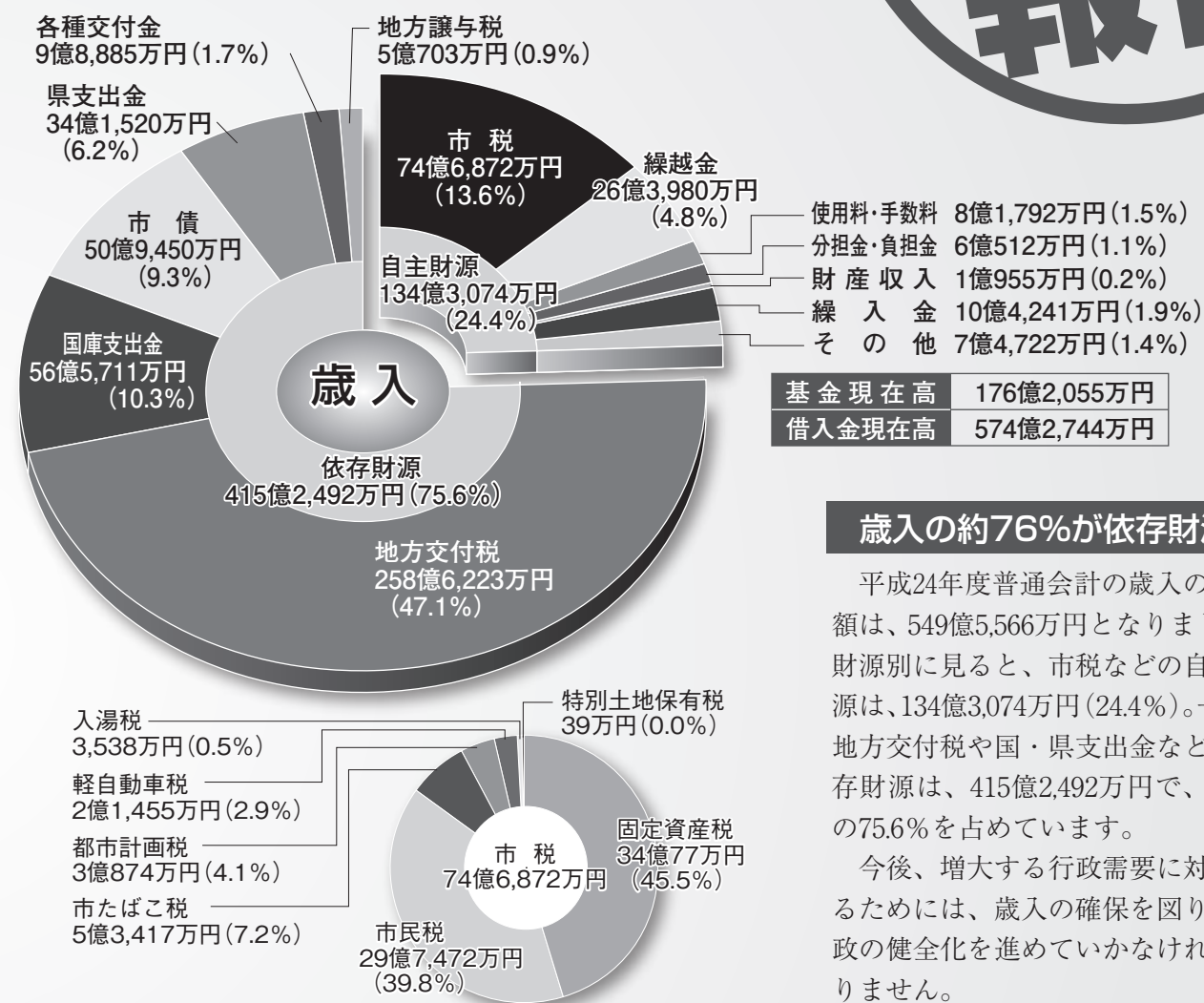
- ▼民生費：福祉全般の事務、事業に使ったお金。
- ▼総務費：住民票発行事務や課税徴収、庁舎管理、公共交通対策、まちづくり支援、基金の積立てなどに使ったお金。
- ▼公債費：借り入れたお金を返済するために支払ったお金。
- ▼教育費：幼稚園や小・中学校の管理、公民館や図書館などの事業や体育振興に使ったお金。
- ▼衛生費：保健事業やごみ処理など、安全で衛生的な生活のために使ったお金。
- ▼農林水産業費：農林水産業などの振興のために使ったお金。
- ▼土木費：道路や公園の整備、市営住宅の管理などに使ったお金。
- ▼消防費：消防、防災施設の設置、天草広域連合への負担金や消防団活動などに使ったお金。
- ▼商工費：商工業および観光の振興に使ったお金。
- ▼人件費：市職員や市議会議員などの報酬や給与。
- ▼扶助費：障がい者や高齢者、生活困窮者などの福祉向上のために使ったお金。
- ▼普通建設事業費：道路や公園などの施設の整備などに使ったお金。
- ▼繰出金：下水道や国民健康保険などの特別会計に支出したお金。
- ▼補助費等：外部団体などの運営補助などに支払ったお金。
- ▼物件費：旅費、委託料、物品の購入などに使ったお金。

平成24年度 決算 報告

平成24年度の決算が、平成25年第4回市議会定例会で認定されました。皆さんに納めていただいた大切な税金や、国や県からの補助金がどのように使われたのかを知っていただくため、普通会計の決算概要についてお知らせします（※金額は万円未満を、構成比は表示単位未満を四捨五入しています）。

詳しいことは、本庁・財政課☎1111へお尋ねください。

※普通会計とは…全国共通のルールでつくられた会計区分。一般会計と特別会計の一部（本市の場合は歯科診療所・斎場事業）を合算したものの。



基金現在高	176億2,055万円
借入金現在高	574億2,744万円

歳入の約76%が依存財産

平成24年度普通会計の歳入の決算額は、549億5,566万円となりました。財源別に見ると、市税などの自主財源は、134億3,074万円（24.4%）。一方、地方交付税や国・県支出金などの依存財産は、415億2,492万円で、全体の75.6%を占めています。

今後、増大する行政需要に対応するためには、歳入の確保を図り、財政の健全化を進めていかなければなりません。

歳入総額 549億5,566万円

用語の説明

- ▼【歳入】
- ▼自主財源：市税や負担金などで、市が自主的に収入して得るもの。
- ▼依存財産：地方交付税、国・県支出金、市債など。
- ▼使用料・手数料：市の施設を使ったり、住民票の交付を受けたたりしたときの料金。
- ▼分担金・負担金：福祉サービス（老人ホームや保育所入所）など特定の利益を受けた人から徴収したお金。
- ▼地方交付税：所得税など、国が徴収した税金の中から、市の行政規模に応じて交付されたお金。
- ▼国庫支出金、県支出金：公共事業など特定の目的の財源として、国・県から交付されたお金。
- ▼市債：国や県、金融機関から借り入れたお金。
- ▼民生費：福祉全般の事務、事業に使ったお金。
- ▼総務費：住民票発行事務や課税徴収、庁舎管理、公共交通対策、まちづくり支援、基金の積立てなどに使ったお金。
- ▼公債費：借り入れたお金を返済するために支払ったお金。

平成24年度の普通会計決算を
家計にたとえると…

1世帯の月収が
30万円の場合

収 入		支 出	
区 分	金 額	区 分	金 額
給 料 (市税)	40,800 円(13.5%)	食 費 (人件費)	53,500 円(18.8%)
パート収入 (使用料・手数料など)	7,800 円(2.6%)	医療費・学費 (扶助費)	50,800 円(17.8%)
親などからの援助 (地方交付税・国庫支出金など)	198,800 円(66.4%)	借金の返済 (公債費)	38,500 円(13.5%)
新たな借金 (地方債)	27,800 円(9.2%)	光熱水費・生活用品 (物件費)	22,000 円(7.7%)
貯金の取り崩し (繰入金)	5,700 円(1.9%)	自治会費など (補助費など)	33,300 円(11.7%)
その他 (繰越金など)	19,100 円(6.4%)	子どもへの仕送り (繰出金)	37,300 円(13.1%)
合 計	300,000 円(100.0%)	家の増改築・車の購入 (普通建設事業費など)	38,800 円(13.6%)
		その他 (積立金・維持補修費など)	10,800 円(3.8%)
		合 計	285,000 円(100.0%)

×モ 収入の66%を親などからの援助に頼っている。支出では、食費や光熱水費、借金の返済など必要経費が約60%も…。将来のゆとりある生活のために節約しないといけない。預金残高は約115万円、借金残高は約376万円。

土 木 費

- 市道の維持補修・改良
…………… 12億8,795万円
- 河川・排水路などの維持管理・整備 …… 1億5,304万円
- 港湾の管理・建設
…………… 1億4,379万円
- 景観整備や都市計画事業
…………… 8,157万円
- 公園の整備・維持管理
…………… 1億5,965万円



- 下水道事業 …… 6億5,400万円
- 市営住宅の管理・整備
…………… 2億 422万円

消 防 費

- 消防施設の整備や消防団運営
…………… 19億7,909万円



商 工 費

- 観光宣伝事業や各種イベントの補助 …… 7億6,065万円



衛 生 費

- 各種の健康診査・予防事業、斎場事業
…………… 36億4,075万円



- ごみ・し尿処理
…………… 21億2,160万円

教 育 費

- 教育委員会事務局経費など
…………… 7億7,668万円
- 小学校35校の管理運営
…………… 11億2,790万円
- 中学校13校の管理運営
…………… 17億 620万円
- 看護専門学校の管理運営
…………… 1億1,457万円
- 幼稚園4園の管理運営
…………… 1億6,313万円
- 生涯学習の推進や文化振興、公民館の改修・管理運営
…………… 6億2,634万円
- スポーツ振興、体育施設の管理運営 …… 8億7,817万円
- 給食センターの管理運営
…………… 6億3,957万円

農林水産業費

- 園芸作物や果樹、畜産など農業振興
…………… 10億2,725万円
- 農地の基盤整備
…………… 6億5,914万円
- 林道整備や間伐促進事業など林業振興
…………… 3億 905万円
- 水産基盤整備など水産振興
…………… 14億4,597万円

市の予算は
こんなことに
使いました

歳出の主なもの

民 生 費

- 施設入所、医療費など障がい者福祉 …… 47億1,760万円
- 介護保険、老人ホームなど高齢者福祉 …… 40億2,648万円
- 保育所(園)57園や児童館7館の運営など児童福祉
…………… 59億3,433万円



- 生活保護、災害見舞金
…………… 13億9,056万円

総 務 費

- 総務・企画全般、市所有の財産管理、まちづくり支援
…………… 67億8,223万円



- 課税・徴収事務
…………… 4億8,261万円
- 戸籍・住民登録事務
…………… 2億1,236万円
- 各種選挙事務
…………… 9,485万円
- 各種統計調査 …… 2,723万円
- 監査事務 …… 4,324万円

特別・企業会計の
決算状況

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計の歳入歳出と区別して会計処理したほうが望ましいときに、その設置が法律や条例で認められており、本市では12の特別会計を設けています。

また、企業会計は商店や会社などの民間企業と同じように、その事業で得た収入をもって支出をする独立採算制の会計で、地方公営企業法により設置するものです。本市では、水道事業と病院事業を企業会計で処理しています。

それぞれの平成24年度の決算は右表のとおりです。

◆特別会計			
区 分	歳 入	歳 出	
国民健康保険	147億5,283万円	141億9,646万円	
介護保険	99億3,665万円	96億8,185万円	
後期高齢者医療	11億7,756万円	11億7,067万円	
公共下水道事業	11億8,741万円	11億8,172万円	
特定環境保全公共下水道事業	3億7,489万円	3億7,241万円	
農業集落排水事業	4,752万円	4,697万円	
漁業集落排水事業	4億 229万円	3億9,910万円	
浄化槽市町村整備推進事業	1億3,865万円	1億3,674万円	
簡易水道事業	16億 985万円	16億 89万円	
国民健康保険診療施設	1億7,275万円	1億3,776万円	
歯科診療所	5,285万円	4,522万円	
斎場事業	9,526万円	9,103万円	

◆企業会計			
区 分	歳 入	歳 出	
水道事業	収益的収入 14億1,986万円	収益的支出 13億4,733万円	
	資本的収入 7億3,410万円	資本的支出 14億5,460万円	
病院事業	収益的収入 38億5,851万円	収益的支出 37億2,057万円	
	資本的収入 6億2,519万円	資本的支出 8億3,265万円	

※資本的収支の不足額は、補てん財源を使って補っています。

◆評価結果一覧

事業名	外部評価	最終評価	今後の市の方針
職員研修事業	改善	改善	行財政改革などの研修をさらに充実し、職員の意識改革を行う。
天草市庁舎建設事業	縮小	改善	縮小する方向で検討を行うが、具体的な規模や事業費については、今後見直される市職員の定員適正化計画やワークショップ（研究集会）などにより、市民の意見を聞きながら進めていく。
外出支援サービス事業	改善	改善	「天草市公共交通連携計画」に基づき、公共交通全体について一体的に見直しを進める。
スクールバス運行事業	改善	改善	児童・生徒の安心安全を第一に、通学の利便性を損なわない範囲で、「天草市公共交通連携計画」に基づき公共交通全体について一体的に見直しを進める。
乗合自動車運行事業	改善	改善	「天草市公共交通連携計画」に基づき、公共交通全体について一体的に見直しを進める。
NPO 支援事業	拡充	拡充	情報の受発信や相談業務の拡充など、「サポートセンター」としての支援機能体制を充実する。
天草国際トライアスロン大会	改善	改善	観光客の誘致に関する総合的な取り組みを推進することにより、さらなる地域発展につなげていく。
観光イベント実施事業	縮小	改善	補助金については、補助額・補助率ともにばらつきがあるため見直す。イベントについては、検討体制を構築して全庁的に見直しを行う。
花しょうぶまつり事業	改善	改善	雨天対策なども含めさらなる検討を行う。イベントについては、検討体制を構築して全庁的に見直しを行う。
物産地域イベント開催補助金	改善	改善	事業内容を精査し、補助金の見直しを図る。イベントについては、検討体制を構築して全庁的に見直しを行う。
ごみ資源化減量化対策事業	改善	そのまま継続	現在取り組んでいる事業系のごみ分別指導の強化や、ごみの分別方法・減量方法などの情報を提供し、市民のごみに対する意識向上にさらに取り組む。
市道清掃ボランティア支援事業	拡充	拡充	事務の簡素化の検討を行い、事業内容を見直す。新たに取り組む団体を増やすためにも、事業所などへの啓発活動を行う。
天草宝島観光協会補助金	縮小	縮小	関係機関と連携・調整を図り、主体的な事業展開の推進、職員のスキルアップや外部人材の登用などによる、組織強化を図り、自主財源の確保を推進し、補助金の削減を行う。
6次産業化推進事業	改善	改善	この事業を活用し、雇用を生み出す事業展開に努める。新商品については、市主催の物産展や横浜市にある「あまくさ宝島市場」などを活用し、販路拡大に努める。
土地改良区管理運営補助金	改善	改善	土地改良区については、合同事務所の設置推進や事務の統合に向けて協議を行う。
子ども総合相談事業	改善	改善	専門職の配置や職員研修などにより専門性の向上を図り、子どもの支援や保護者の子育て支援を行う。
健康運動事業	改善	改善	誰もが気軽に参加でき、市民全体で運動に取り組めるような体制づくりを進める。
社会福祉協議会補助金	縮小	縮小	社会福祉協議会事務職員の人件費補助であり、本所や支所に必要な事務職員数を精査して補助対象職員の見直しを行い、計画的に補助金の削減を図る。
農地流動化奨励金交付事業	改善	改善	農地の借り手側の支援を充実するなど制度の見直しを行う。
地域 ICT 利活用事業	そのまま継続	そのまま継続	利用促進メールの配信、ホームページへの掲載などを行い加入者増を図る。

行財政改革

事務事業評価を行いました



市では毎年、第2次天草市行財政改革大綱に基づき、市が行っている事務事業の目的・目標の達成状況などについて、評価を実施しています。今号では、外部評価委員が実施した20事業の評価結果と、外部評価結果を踏まえて市が行った最終評価などの概要についてお知らせします。

今後は、この最終評価に沿って事業の改善・見直しなどを行い、可能なものから来年度予算に反映させるなどして、持続可能な行財政運営を進めていきます。

なお、評価結果の詳細は、本庁・行財政改革推進課☎②1111へお尋ねいただくか、市のホームページでもご覧いただけます。

◆評価の流れ

①市で実施している約1,400の事務事業について、市で評価を実施。



②天草市行財政改革審議会委員で構成する外部評価委員会(会長＝澤田道夫氏ほか委員9人)が、20事業を選定し評価を実施。



③外部評価の結果を踏まえて、市で最終評価を実施。

◆評価基準

項目	内容
そのまま継続	今後もこれまで同様に行うもの（経済状況の好転による増大、人口増などによる減少も含む）
縮小	対象や事業量が減少するもの（人口減などによる減少は除く）
拡充	対象や事業量が増大するもの（経済状況の好転などによる増大は除く）
改善	事業内容・実施方法などの見直しを行うもの
廃止	成果が出ないなどの理由で、今後行わないもの

※外部・最終評価結果の概要などについては、左ページをご覧ください。

外部評価で活発に議論

昨年10月から11月にかけて、4日間実施。市からの説明を受けた委員の皆さんは、活発に議論を交わされていました。



▶会議のようす

■委員の皆さんから出された意見の一部

- 厳しい財政状態になったときに、市としてどこまでやるべきなのか。
- 必要だから、ニーズがあるからではなく、もう少し広い視野での判断が必要。
- どうしたら経費を減らして最大限の効果が得られるかを、職員一人ひとりが考える必要がある。
- 市民は、市政について職員とは違う視点から考えている。
- 市民の意見を取り入れながら、進めていただきたい。



市・県民税の申告が始まります

2月17日(月)～ 3月17日(月)

昨年1年間の事業などの収入や控除を計算する税の申告時期がやってきました。
今号では、市・県民税の申告の要・不要の判断の目安や申告日程、申告のときに必要なものなどをお知らせします。

市・県民税の申告日程

●受付時間：午前の部【午前9時から正午まで】 午後の部【午後1時から同4時まで】

1. 最寄りの会場で都合が悪い場合は、どこの会場でも申告することができます。
2. 次の人は、まずは電話で本庁・課税課☎0111へご相談ください。
 - ①市・県民税を申告する人で、移動手段がないことや高齢などにより会場まで行くことが困難な人。
 - ②平成25年中に収入がなかった人（収入確認のハガキを返送した人は除きます）。
3. どこの会場も混み合いますので、時間に余裕を持っておいでください。

※本庁・課税課や各支所窓口での申告はできません。

※次の人は税務署で申告をしてください。

- ①青色申告 ②譲渡所得申告 ③住宅借入金などの特別控除を初めて受ける人
- ④上場株式などの譲渡損失の申告 ⑤税務署から申告案内があった人

地区	月 日	申告会場	地区	月 日	申告会場
本渡	2/25(火)	本町地区コミュニティセンター	御所浦	3/12(水)	横浦島コミュニティセンター
	2/26(水)	楠浦地区コミュニティセンター		3/13(木)・14(金)	御所浦島開発総合センター
	2/27(木)	宮地岳地区コミュニティセンター	栖本	2/28(金)・3/3(月)	栖本福祉会館
	2/28(金)	佐伊津地区コミュニティセンター		2/17(月)	大多尾地区コミュニティセンター
	3/4(火)	志柿地区コミュニティセンター	新和	2/18(火)・19(水)	新和町民センター
	3/5(水)	下浦地区コミュニティセンター		2/17(月)	五和町コミュニティセンター
牛深	3/4(火)～7(金)、10(月)～14(金)・17(月)	天草市民センター	五和	2/18(火)	鬼池地区コミュニティセンター
	3/3(月)	ふかみふれあいセンター		2/19(水)・20(木)	五和漁村センター
	3/5(水)	二浦地区多目的研修集会施設		2/21(金)・24(月)	地域交流センターおおくす
	3/6(木)・7(金)	くたまふれあいセンター	天草	2/17(月)	下田北地区コミュニティセンター
	3/10(月)	須口健康センター		2/18(火)	福連木地区コミュニティセンター
	3/17(月)	魚貫出張所		2/18(火)	天草支所
有明	3/11(火)～14(金)・17(月)	牛深支所	河浦	2/19(水)	大江地区コミュニティセンター
	2/20(木)	島子地区コミュニティセンター		2/20(木)	富津地区コミュニティセンター
	2/21(金)	上津浦地区コミュニティセンター		2/21(金)・24(月)・25(火)	河浦支所
	2/24(月)	下津浦地区コミュニティセンター	倉岳	2/26(水)	新合地区コミュニティセンター
	2/25(火)	有明保健センター		2/27(木)	宮野河内地区コミュニティセンター
	2/26(水)	須子地区コミュニティセンター	所得税確定申告会場の開設期間など		
倉岳	3/6(木)	大浦地区コミュニティセンター			
	3/7(金)	楠浦地区コミュニティセンター			
	3/10(月)・11(火)	宮田地区コミュニティセンター			
		浦地区コミュニティセンター			
		倉岳多目的研修集会施設			

■と き＝2月17日(月)～3月17日(月)
※土・日曜日を除く
●申告相談…午前9時～午後4時
●申告書受付…午前8時30分～午後5時
■ところ＝天草税務署（古川町）

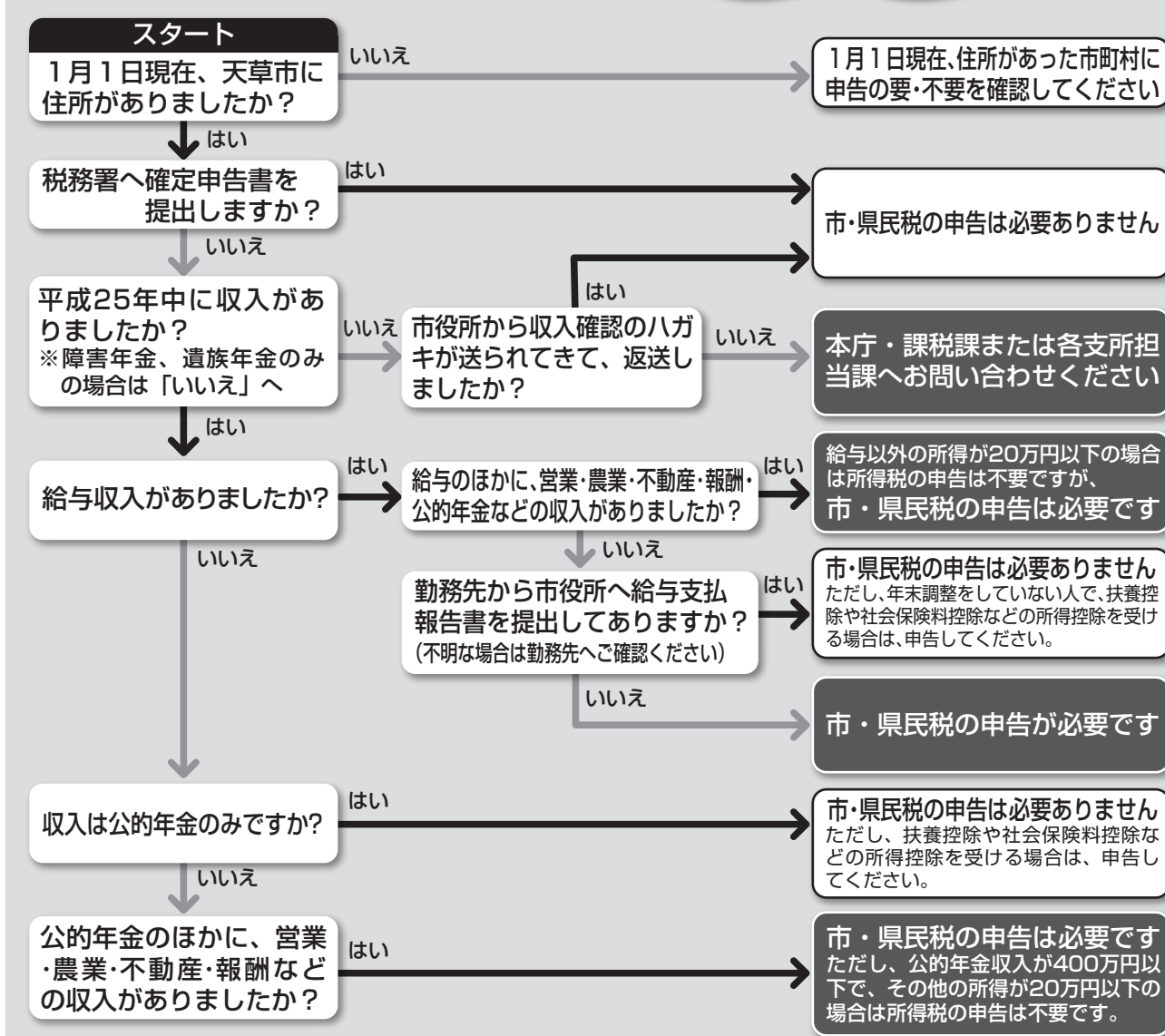
市・県民税の申告が必要な人は

営業・農業・不動産などの収入がある人で、市・県民税の申告が必要な人には、申告案内を送付しています（所得税の申告については税務署が案内）。
しかし、申告案内が届いていない場合でも、下表で市・県民税の申告が必要となった人は、各申告会場（次ページを参照）で申告してください。
平成24年中に収入がなかった人には、収入確認のハガキを送付しています。同25年中も無収入だった場合に限り、収入確認ハガキに必要な事項を記入し、返送すると申告は完了します。

申告をしないといけない

所得証明が発行できないほか、保険税（料）の軽減（所得額が一定基準以下の場合、税額などを軽減する制度）が適用できない場合があります。また、医療機関での窓口負担や保育料等、身近な医療・福祉などにも関係しますので、必ず申告してください。

市・県民税の申告が必要？ 不要？



申告のときに必要なもの

- ・申告案内（通知が届いた人）
- ・印かん

※税務署から申告案内が届いた人は、税務署で申告してください。

このほか、申告のときに必要なものは、申告をする人それぞれの所得の種類などによって、次のとおりとなっています。

◆給与・年金所得がある人

- ・給与所得の源泉徴収票または給与支払証明書
- ・公的年金などの源泉徴収票

※所得税の還付を受ける人は、源泉徴収票（原本）と本人名義の預貯金通帳（口座番号がわかるもの）を持参してください。

◆個人年金・保険の満期金がある人

- ・保険会社などが発行した支払い金額がわかるもの

◆事業、不動産所得がある人

- ・収入（売上額・出荷額・水揚げ額等）や経費などがわかる書類や帳簿（所得の種類ごと、経費などの科目ごとに集計してきてください。計算をしていないと、申告の順番が後回しになる場合があります）。

- ・固定資産税課税明細書
- ・領収書

※農業所得は、収支計算による申告となります。販売（出荷）伝票や必要経費がわかる領収書・営農口座の通帳などを項目ごとに分けて集計しておいてください。また、自家消費分については、収穫量を記録しておいてください（「もみで〇俵」など）。

◆社会保険料控除を受ける人

- ・年金や健康保険税（料）などの領収書または納税額確認書
- ・国民年金保険料控除証明書

※国民健康保険税や後期高齢者医療保険料、介護保険料が年金から差し引き（特別徴収）される保険税（料）の控除を受けることができるのは受給者本人のみとなります。

◆生命保険料控除や地震保険料控除を受ける人

- ・支払った保険料の証明書

◆医療費控除を受ける人

- ・支払った医療費の領収書など（受診者・医療機関ごとに集計してください）
- ・生命保険や医療保険の高額療養費などで補てんされる金額の明細書
- ・介護保険高額介護サービス費支給決定通知書

※おむつ代の医療費控除を受けるときは、領収書と医師のおむつ使用証明書が必要です。ただし、介護保険被保険者でおむつが必要と認められる人は、2年目から市が発行する確認書と領収書で控除を受けることができます。詳細は本庁・高齢者支援課へお尋ねください。

※国民健康保険、後期高齢者医療保険の高額療養費支給額明細書が必要な人は、保険証と印かんを持参して、本庁・国保年金課または各支所担当課で申請してください。

◆障害者控除を受ける人

- ・障害者手帳または障害者控除対象者認定書

※認定書は、身体や精神に障がいがある65歳以上の人で、その障がいが①身体障がいの1～6級②知的障がいの軽度・中度・重度③寝たきりと同じ程度と認められる人へ発行します。①と②は本庁・福祉課で、③は同・高齢者支援課で申請してください（各支所担当課でも申請できます）。

◆雑損控除を受ける人

- ・被災証明書
- ・被害を受けた住宅、家財の明細書や、支払った修繕費などの領収書
- ・損害保険などで補てんされる金額の明細書

◆寄附金控除を受ける人

- ・寄附先から交付された寄附金の受領証など

※自治体への寄附（ふるさと寄附金）を行った場合も申告が必要となります

◎市・県民税の申告についての詳細は、本庁・課税課☎231111または、各支所担当課へお尋ねください。

◎所得税の申告については天草税務署☎22510へお尋ねください。

閉校記念シリーズ

ありがとう。わが母校

3月31日をもって、市内10の小学校が閉校します。

「市政だより天草」では、閉校記念シリーズ「ありがとう。わが母校」を題して、2号に分けてこれらの小学校のあゆみ、在校生や卒業生の皆さんに母校に寄せる思いなどを語っていただきます。

今号では、牛深地域の牛深、二浦、魚貫、天附の4小学校、御所浦町の御所浦北小学校を紹介します。

なお、牛深地域の4校は牛深小学校の校舎で牛深小学校としてスタートし、御所浦北小学校は御所浦小学校と統合します。

二浦小学校



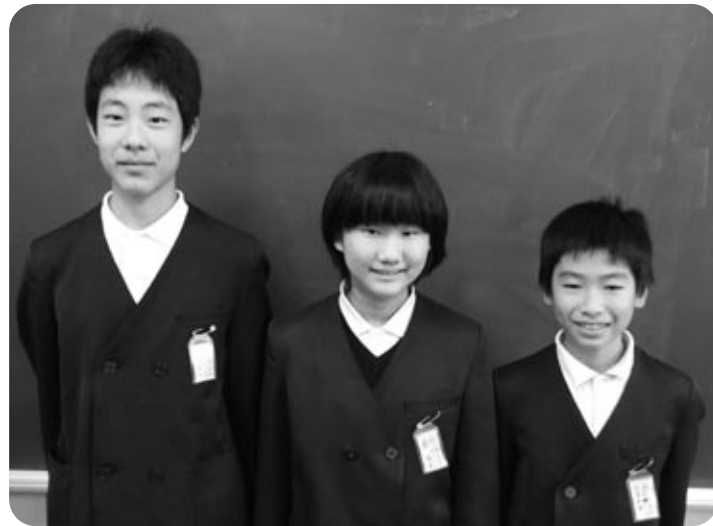
あゆみ

- 明治 8 早浦校、亀浦校創立
- 25 尋常小学校となる
- 大正 11 白石尋常小学校と改称
- 12 白石尋常高等小学校と改称
- 昭和 16 白石国民学校と改称
- 29 牛深市立二浦小学校と改称
- 44 校章制定
- 63 新校舎が完成
- 平成 10 体育館が完成
- 18 天草市立二浦小学校と改称

ありがとう 二浦小学校

最盛期は全校児童376人(昭和31年)を数え多くの卒業生を輩出した二浦小学校も、平成25年度は全校児童19人となり、私たち3人が最後の卒業生となりました。閉校するのは寂しいけれど、6年間でたくさんの思い出ができ、今も私たちの心にキラキラと宝石のように輝いています。多くの人に支えられたおかげです。

ありがとう、地域の皆さん。ありがとう、家族。ありがとう、先生。ありがとう、今まで出会ったすべての人たち。そして、ありがとう、二浦小学校。



最後の卒業生 (=写真左から)
濱崎 康生くん・迫中 陽香さん・松鼻 利樹くん

親子3代が通った母校に感謝

私が入学したのは昭和14年で、桜が咲くころに胸をふくらませて正門をくぐりました。3年生の12月には太平洋戦争が始まり、軍国主義教育として遠足は海軍記念日に亀浦湾入口瀬戸へ、陸軍記念日には石神山などの周辺の山に登ったことを覚えています。

今、小学校の前を通ると正門だけは昔のままで、当時のことが懐かしく思い出されます。閉校は寂しいですが、親子3代が通った母校に感謝しています。ありがとう、二浦小学校。



昭和19年度卒
平田 良三さん
(二浦町早浦・81歳)

真新しい校舎の記憶がよみがえる

私が5年生のときに、現在の校舎に建て替えられました。真新しい校舎は廊下が広く、うれしさのあまり走りまわったり、休み時間には運動場でみんなで“ひまわり”をしたりして遊んだ記憶がよみがえります。

母校が閉校することはさみしいですが、またこの校舎が今後いかされていくことを期待しています。在校生の皆さんは、新しい場所で新しくできる仲間とともに、学校生活を楽しく過ごしていただきたいです。



平成元年度卒
福本 文子さん
(二浦町亀浦・36歳)

牛深小学校



あゆみ

- 明治 8 寺子屋教育として発足する
- 22 尋常牛深小学校と改称
- 昭和16 牛深国民学校と改称
- 29 牛深市立牛深小学校と改称
- 40 鉄筋3階建ての新校舎が完成
- 47 第二校舎・第三校舎落成、体育館が完成
- 平成 18 天草市立牛深小学校と改称
- 24 新校舎が完成

“牛深っ子”の一員であることが誇り

牛深小学校は平成26年4月、二浦小、魚貫小、天附小と統合し、新たな小学校になります。懐かしい旧校舎や立派な新校舎、そこに集う友だち、先生、お父さん、お母さん、卒業されたたくさんの先輩方、地域の人々に「ありがとう」という感謝の気持ちを伝え、元気に新しい第一歩を踏み出そうと思います。

『精いっぱい学ぶ黒潮パワーの牛深っ子』『何事も笑顔で乗り切る牛深っ子』そんな牛深っ子の一員であることを、わたしたちは誇りに思います。



最後の児童会役員 (=写真左から)

- 〔後列〕 佐々木 勇輝くん・宮原 綾太くん・久保 宗佑くん
吉浦 佑哉くん
〔前列〕 唐田 茉尋さん・岸谷 陽くん・榎田 彩花さん

時代とともに変わりゆく校歌

「ああ芥南に咲きそめし」で始まる校歌は、私たちは「集うわが友二千名」と歌い、叔母たちは「三千名」、そして子どもたちは「一千名」と、ときがたつにつれて歌詞が変わっていくことが珍しく、また懐かしくも感じます。運動場にある「せんだんの木」は、私たちや子どもたちをこれからも温かく見守ってくれることでしょう。新しい小学校では、ほかの地区の子どもたちといっしょに、伝統ある小学校を築いていただきたいです。



昭和50年度卒
江上 美和さん
(牛深町・50歳)

新たな歴史を刻むことに期待

私たちが通学した牛深小学校も一区切りという事で寂しい思いもしますが、現在の少子化の時代ではしかたがないことかもしれません。私が通っていた当時は、旧南消防署や牛深幼稚園があるところは田んぼでした。木造の第一校舎の窓ガラスには、よく野球のボールがあたるので針金の網が張ってあったのを記憶しています。

今後は、新たな歴史を刻みながらすばらしい伝統を築いてほしいものです。



昭和27年度卒
早水 英雄さん
(牛深町・72歳)

天附小学校



あゆみ

- 明治 15 潮東小学校分校教室として設立
- 25 牛深尋常小学校天附分教室と改称
- 昭和 22 牛深町立天附小学校と改称
- 29 牛深市立天附小学校と改称
- 38 校章と校歌を制定
- 49 鉄筋コンクリート3階建ての校舎が完成
- 53 体育館が完成
- 平成 18 天草市立天附小学校と改称



昭和61年度卒
梅田 清信 さん
(牛深町・39歳)

小学校のすぐそばに自宅があったため、幼いころは校庭をわが家のように走り回って遊んでいました。

勉強よりも運動会や部活動など体を動かす事の方が得意で、中でもソフトボールは泣きながらも必死で練習をしていた事が、心に残っています。

この歳になっても楽しくソフトボールを続けられているのは、ここでソフトボールの楽しさと、厳しさを教えていただいたからこそだと思います。

母校がなくなるのはとても寂しいことですが、今後、子どもたちの「未来へ羽ばたく大きな一歩」となることを期待し、これからも子どもたちを温かく見守っていききたいと思います。

子どもたちを温かく見守っていききたい



最後の6年生 (=写真左から)

矢田 智也^{ともや}くん・小森 弘海^{ひろみ}くん・砂月 梨花^{りんか}さん
花田 暖愛^{のあ}さん

私たち6年生4人は、閉校することをとてもさみしく思っています。今年度の全児童は、20人と少ない人数です。いちばんの思い出は、最後の運動会です。地域の皆さんにも手伝ってもらい、いい運動会ができました。6年間通って、たくさんの思い出を作ることができました。卒業しても天附小学校のことを忘れずに、大切にしていきたいです。

これからも、天附小学校がずっと大好きです。



▲最後の運動会で記念の1枚

これからも天附小学校がずっと大好きです

魚貫小学校



あゆみ

- 明治 6 民家を借りて授業が始まる
- 9 公立魚貫小学校と改称
- 20 尋常魚貫小学校と改称
- 昭和 16 魚貫国民学校と改称
- 22 天草郡魚貫村立魚貫小学校と改称
- 29 牛深市立魚貫小学校と改称
- 53 鉄筋3階建ての校舎が完成
- 平成 16 池田小学校と統合
- 18 天草市立魚貫小学校と改称

いちばんの思い出は“ふれあい授業参観”

6年 浜崎 春菜さん

魚貫小学校の思い出はたくさんあります。いちばんの思い出は、“ふれあい授業参観”です。地域の皆さんと保護者といっしょになってグラウンドゴルフをしたり、竹とんぼや水鉄砲、びえん寿司やいきなり団子なども作ったりしました。そのほかにも、運動会やもちつきなど、地域の皆さんとふれあう行事がたくさんありました。

統合するのがとてもさびしいです。残りわずかになりましたが、もっとたくさんの思い出を作っていきたいと思っています。



最後の6年生 (=写真左から)

〔後列〕岡崎 拓也^{たくや}くん・長畑 優希^{ゆき}さん・大西 ひとみ^{ひとみ}さん
〔前列〕浜崎 春菜^{はるな}さん・田川 優太^{ゆうた}くん

ありがとう、魚貫小学校

昭和20年4月に入学しました。そのころは終戦の年で、空襲警報が鳴るたびに防空壕へ逃げていました。終戦後は物が少なく、履物は素足でワラ草履をはいて通っていた思い出があります。

民家を校舎としてスタートした魚貫小学校が、7千人を超える卒業生を輩出し、歴史と伝統を残し閉校することは残念なことですが寂しい思いがします。魚貫小学校の140年の歴史と思い出は、卒業生の胸にしっかりと残ると思います。ありがとう、魚貫小学校。



昭和25年度卒
小崎 一幸^{いちこう} さん
(魚貫町・75歳)

私たちの“心のふるさと”です

閉校記念誌づくりに携わっています。祖父母や両親、私、そして娘、世代のつながりを名簿に見つけると懐かしく、うれしく、歴史の深さを感じます。

最後の運動会では、児童や保護者、地域の皆さんと校歌の鼓笛隊をしました。30年ぶりのリングバトンがとても懐かしかったです。魚貫小学校での残り少ない日々を、2年生の娘とともに心に刻んでいこうと思います。魚貫小学校は、私たちの“心のふるさと”です。



昭和58年度卒
山下 千恵^{ちえ} さん
(魚貫町・42歳)

天草市ご当地ナンバープレートデザイン最優秀賞が決定

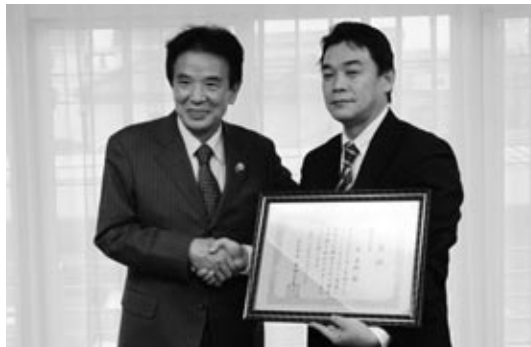
天草らしい ナンバープレートが誕生！

昨年10月に募集した『天草市ご当地ナンバープレート（原付バイク〔50cc以下・90cc以下・125cc以下〕・小型特殊自動車用）デザイン』の選考を行い、応募があった68作品の中から森英樹さん（天草市）の作品（右参照）が最優秀賞に決まりました。12月26日には市役所本庁で表彰式が行われ、安田市長から森さんへ表彰状と副賞が贈られました。森さんは、「選ばれて光栄です。美しい天草の風景にナンバープレートがとけ込んでほしいと思います」と話していました。

なお、新しいナンバープレートは9月から交付する予定で、現行のナンバープレートを持っている人も無料で交換することができます。詳細は、本庁・課税課☎③1111へ。



▲イルカをはぐくむ豊かな美しい海に浮かぶ
“宝島”天草をイメージしたプレートデザイン
※プレート製作の都合上、デザインが若干変更になる場合があります。



▲表彰状を手にする安田市長と森さん（右）

NEWS

小山薫堂さんとパラダイス山元さんに「天草宝島親善大使」を委嘱

天草のPRを よろしくお願いします！



▲委嘱状を手にする小山薫堂さん（左から3人目）とパラダイス山元（同2人目）さん

市出身で放送作家の小山薫堂さん（東京都）と、昨年9月に開かれた世界サンタクロース会議in天草の開催のきっかけを作った、日本で唯一の公認サンタクロースであるパラダイス山元さん（東京都）に1月8日、「天草宝島親善大使」が委嘱されました。同大使は、市の出身者やゆかりのある人に、市の知名度やイメージ向上のために宣伝活動を行ってもらうと設けられているもので、今回が初めての委嘱になります。

この日は、市内のホテルで開催された商工団体主催のパーティの席上で、委嘱状の交付式を実施。安田市長からお2人に委嘱状が手渡されました。小山さんは、「天草はやさしさを充電できる場所。これまでどおりPRをしていきます」、山元さんは「天草と末永くお付き合いをしていきたい」と笑顔で話していました。



御所浦北小学校



あゆみ

- 明治 8 嵐口に御所浦公立御所浦小学校設立
- 13 与一ヶ浦分教場（浦田佐吉氏宅）、横浦分教場（松崎義人氏宅・松原福松氏宅）
- 27 横浦分教場開設
- 昭和 15 御所浦北尋常高等小学校と改称
- 16 御所浦北国民学校と改称
- 38 御所浦町立御所浦北小学校と改称
- 41 校歌制定
- 55 現在の校舎が完成
- 平成 18 天草市立御所浦北小学校と改称



昭和29年度卒
吉田 和美 さん
（御所浦町横浦・71歳）

私が通学していたころは、山の上に学校がありました。その後、28歳から定年まで、給食の調理師として北小をずっと見てきました。地域が先生を信頼し大事にしていたので、先生もそれに応えるように熱心に指導してくださり、子どもたちはとても優秀でした。

子どもたちには、やさしく・かしこく・元気な北っ子魂を忘れずにがんばってほしいですね。



6年
浦田 悠生 さん
（御所浦町横浦・12歳）

御所浦北小学校は全校児童30人の学校です。私の思い出は、昔から伝統のある地引き網体験をしたことや、6年連続で郡市音楽会に出場したことです。たくさんの思い出が詰まったこの学校が閉校になるのはとてもさびしいですが、最後の卒業生としてこれからもがんばります。

御所浦北小学校の児童であることを誇りに思っています。

御所浦北小学校での思い出



▲本校（御所浦島）で開かれる卒業式に出席するため、船で向かう児童たち（昭和14年）



▲新校舎落成式（昭和55年）



▲地引き網体験（平成19年）

御所浦小学校からの
メッセージ



よりよい 御所浦小学校に

御所浦小学校・5年
若木 穂菜美 さん
（御所浦町牧島・11歳）

これまで、御所浦北小の皆さんとは歓迎遠足や産山小学校との交流活動、集団宿泊教室などの活動をいっしょに取り組み、とても楽しく活動することができました

4月からは、今まで以上に協力し合ってよりよい御所浦小学校にしていきたいと思っています。北小の皆さんが来るのを楽しみにしています。



▲“きね”でもちをつく子どもたち

お年寄りと楽しいふれあい

河浦剣道クラブが訪問もちつき

12月27日、河浦剣道クラブの子どもたち11人が、地元にある老人福祉施設を訪問し、もちつきを行いました。同クラブが、お年寄りとのふれあいを目的に初めて実施したもの。子どもたちは、日ごろ持ちなれた“竹刀”を“きね”に持ちかえ、力強くもちをついていました。その後、子どもたちはつきあがったもちを入所者のお年寄りといっしょに食べ、入所者から「もちがやわらかくておいしい」と声をかけられるなど、お年寄りとのふれあいを楽しんでいました。

夢を筆に込めて

新春書き初め

久玉町の久玉小学校5・6年生30人と地区住民が1月7日、久玉地区コミュニティセンターで「新春書き初め」を行いました。久玉地区振興会が、子どもたちに夢を持って1年を過ごしてほしいと初めて実施したもの。同地区振興会の尾谷次男会長が、横5m・縦3mの紙に事前に「夢」と書き、その文字の周りに子どもたちは自分の夢を、おとなたちは子どもたちに託すメッセージを書いていました。

この作品は、同センター入り口に1年間展示されます。



▲自分の夢を書く子どもたち

祭りとマラソンに多くの人出

倉岳えびす祭り・倉岳えびすマラソン大会

1月12日、倉岳大えびす像公園一帯で「第22回倉岳えびす祭り・2014倉岳えびすマラソン大会」が開催されました。同えびす祭りでは、約50隻の漁船による海上パレードが行われたほか、えびす太鼓の披露や綱引き大会、福もち投げなどが実施され、約3,700人の人出でにぎわいました。また、同マラソン大会には、3・5・10kmのコースに県内外から過去最多となる1,264人のランナーが参加。自然豊かな倉岳路を気持ち良さそうに走っていました。



▲えびす太鼓の演奏

それぞれの想いを絵馬に込めて

思い出づくり事業

平成19年度に有明町の島子小学校を卒業し、今年度18歳になる子どもたちに絵馬を書いてもらう「思い出づくり事業」が12月23日、島子地区コミュニティセンターで行われ、10人が参加しました。同地区振興会が毎年お盆や正月に、今回書いた絵馬を同センターのフェンスに飾ることで、帰省した子どもたちが集まるきっかけになるようにと行っているもの。

子どもたちは絵馬に「ビッグになって帰ってくる！」など、決意や願いごとを思いおもいに書いていました。



▲絵馬を囲んで記念の1枚

“へのかっぱ”精神で乗り越えて！

へのかっぱストラップを贈呈

1月8日、栖本中学校の3年生23人に栖本まちづくり協議会から“へのかっぱストラップ”が贈られました。このストラップは、同協議会が地元のかっぱ伝説にちなんで企画・販売しているもので、高校受験を控えた生徒に“へのかっぱ”の精神で受験に挑んでもらおうと毎年贈っているもの。贈呈式は同中学校で行われ、同協議会の松尾悟会長から生徒代表に手渡されました。生徒は「ストラップをもらえてうれしいです。大切にします」と話していました。



▲生徒へ贈られたへのかっぱストラップ

勇壮な太鼓の響きとともに新年の幕開け

嵐口春日太鼓保存会が年越しライブ

平成26年の幕開けを祝う、嵐口春日太鼓保存会による年越しライブが、1月1日の午前0時から御所浦漁村センターで行われました。平成12年から毎年行われているもので、100人を超える住民が来場。会場は、手作りの竹のキャンドルで彩られ、幻想的な雰囲気^{あらし}に包まれる中、同会の会員が力強いバチさばきで「嵐^{あらし}」や「響^{ひびき}」を含む5曲を披露。勇壮な演奏に、来場者は聞き入っていました。



▲力強いバチさばきを見せる嵐口春日太鼓保存会の皆さん

新しい移動図書館車をぜひご利用ください

新・移動図書館車

市内各地を移動して本を貸し出す移動図書館車がこのほど新調されました。旧車両よりも600冊多い1,800冊の本を積むことができ、車体には、公募により本渡中学校2年生の原田聖羅さんの作品が描かれています。愛称は“きらきらいるか号”に決まりました。皆さん、ぜひご利用ください。巡回日程などの詳細は、中央図書館☎③7001へお尋ねください。



▲新しい移動図書館車

修学旅行生の受け入れに向けて

農家民宿先進地研修

平成26年度から修学旅行生の受け入れを計画している新和まちづくり協議会では12月18・19日、市商工会新和支所の職員と農家民宿の先進地である大分県臼杵市野津町を訪れ、研修を行いました。

地元の農家民宿のグループなどから現在の取り組み状況などを聞いたほか、意見交換を実施。参加者は「修学旅行生を受け入れるときの注意点など、勉強になりました」と話していました。



▲研修会のようす

機敏な動きを披露！

消防出初式

1月5日、「消防出初式」が本渡運動公園陸上競技場で開かれました。市消防団員など約1,200人が参加。同式では、分列行進、整列隊形や規律などの通常点検、地上20mの高さにあげられたかごの中にあるボールを、放水でいかに早く落とすかを競う放水競技が行われ、団員たちは機敏な動きを披露していました。通常点検、放水競技ともに牛深方面隊が優勝しました。



▲通常点検のようす

昔話に花を咲かせて

鬼池小学校閉校記念事業「天神山初詣ウォーク」

1月1日、五和町鬼池にある天神山（172m）山頂の社に参拝する「天神山初詣ウォーク」が行われました。2年前に閉校した鬼池小学校をしのいで実施されたもので、同校の卒業生など約100人が参加しました。

参加者たちは、山頂に到着し社に参拝した後、ふるまわれた甘酒を堪能。山頂から見下ろす旧・鬼池小学校（現・御領鬼池小学校）を眺めながら、昔話に花を咲かせていました。



▲社の前に集合した参加者たち

おめでとう！新成人

市内各地で成人式を開催

1月3・4日、「成人式」が市内9つの会場で開かれ、742人の新成人が出席しました。385人が出席した本渡会場（同3日・天草市民センター）では、新成人を代表して田崎留衣さんが、「社会人の一員として地域社会に元気を与え、笑顔をもたらすことのできるような社会人になることを、ここに誓います」とあいさつ。その後、出席した新成人たちは記念撮影をするなど、友人との久しぶりの再会を楽しんでいました。



◀本渡会場・新成人代表の田崎留衣さん

▶記念撮影をする新成人たち



天草御所浦ジオパークを高く評価！

“天草御所浦ジオパーク”が日本ジオパークに再認定

12月16日、第19回日本ジオパーク委員会が開催され、“天草御所浦ジオパーク”が日本ジオパークに再認定されました。再認定は、ジオパークの質を保つことを目的に4年ごとに行われるものです。

昨年11月24・25日に同委員会による現地調査が実施され、地層の保全や活動状況などを審査。「化石などの保全は、ほかのジオパークへの良いお手本である」と高く評価されました。



▲現地調査のようす

今年1年の無病息災を願って

おねぼっぼ（鬼火焼）

1月7日、天草町下田南の旧下田南小学校グラウンドで地区住民約50人が参加し、今年1年の無病息災と家内安全を祈願する、「おねぼっぼ（鬼火焼）」が行われました。会場では、長さ10mの竹を支柱にして組んだやぐらに火が付けられ、参加者はもちを焼いておいしそうに食べていました。また、ぜんざいやお神酒もふるまわれ、七日正月を楽しんでいました。



▲やぐらの周りに集まった住民たち



三つ編みでなわとびを作ったよ！（年長児）
本渡ひまわり保育園（志柿町）

園児フォトスナップ



元気で明るい寒さに負けない浦和っ子！（3・4・5歳児）
浦和保育所（有明町）

若っ喝采 フッガッサイ!!

上原 豊さん
（河浦町宮野河内・28歳）

昨年5月に帰郷し、両親とともに農業をしています。デコポンの栽培がメインで、レモンやスナップエンドウなども手がけています。今は、デコポンの収穫の真っ只中です。就農したばかりでわからないことがたくさんありますが、収穫の喜びをかみしめながら、作業に取り組んでいます。

休日に、家で映画やドラマを見ながらゆっくりとくつろぐことが楽しみのひとつですね。将来は大規模農家を目指して、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。



天草の元気が大集合！ひろば みんなの広場



おどろき夫婦

松本 和芳さん（76歳）
郁子さん（74歳）
（栖本町河内）

昭和38年結婚
（52年目）

◆夫婦円満の秘けつを教えてください。

「言いたい事は言う」「相手の主張を尊重すること、けんかをしても後々まで引きずらないことです。また、いっしょになってグラウンドゴルフを楽しむことも、いいのかもしれません。

◆お互いにひとことお願いします。

和芳さん：毎日おいしい健康食を作っていたき、感謝しています。これからもいっしょに元気に長生きしましょう。

郁子さん：一病息災という言葉があります。病氣と向き合いながら、体に気をつけて長生きしてください。



ザ・部活動

部活動がんばる中学・高校生



感謝の気持ちを忘れずに

原田 怜さん
五和中学校（五和町）ソフトテニス部・2年

中学生になってソフトテニスを始め、ペアを組んだ先輩から技術や精神面でたくさんのことを教えてもらい、ソフトテニスが大好きになりました。今は男子キャプテンとして、女子キャプテンとともに30人の部員を引っ張っています。天草選抜チームのメンバーとして試合に出るなど、貴重な経験もさせていただいています。

試合に勝っても負けても、温かく応援してくださる皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに、郡市中体連優勝を目指して部員みんなで練習に取り組んでいます。

作品名「ゴーヤのしゅうかく」

魚貫小学校（魚貫町）
4年 田川愛莉さん



葉っぱの形を一枚いちまいていねいに描きました。ゴーヤの粒の色を少しずつ変化させることに、とても苦労しました。

こども芸術館



作品名「自然の中の神社」

楠浦小学校（楠浦町）
6年 下門彩花さん



自然に囲まれた神社です。石垣や階段など、同じ色でも色を少し変えたり塗り方を変えたりして、きれいに見えるように描きました。



しげる ゆみこ
浦川 繁さん・由美子さん
(新和町大多尾・ともに66歳)

今月の

h i t o

今後も楽しく 天草宝島暮らし

新和町大多尾に住む浦川さんご夫婦。熊本市出身の繁さん、旧本渡市出身の由美子さんがこの土地に移り住んで、27年になる。3年がかりで手作りした自宅のログハウスの前には穏やかな海が広がり、周囲は緑豊かな山に囲まれている。この自然の中で、2人は米や野菜、甘夏みかんの栽培、魚釣りなど、田舎暮らしを満喫している。

若いころから田舎暮らしがしたいと考えていた繁さん。あこがれだけで生活はできないとの思いから、会社で働きながら、大学の通信教育課程で農村社会学などを学んだ。そんなとき縁があり、結婚する前の29歳のときにこの土地を購入。「思い描いていた通りの場所でしたね」と繁さん。由美子さんも、「結婚して、夫の考えに共感したんです」と話す。そして、45歳のときに会社を退職し、子ども2人を含む家族4人で念願の田舎暮らしをスタートさせた。

そして、田舎暮らしのスタートとともに、自宅を活用して宿泊型の農・漁業体験施設「浦川農園自然塾」を開設。豊かな自然の中で田舎暮らしが体験できると「口コミ」で広がり、最盛期には年間延べ200人の宿泊客が訪れた。一方、自然のものを食べてほしいと、食に関しても熱心に取り組む。栽培している米や野菜、甘夏みかんなどは、農薬や化学肥料を使わない有機栽培。また、由美子さんの自家製みそは、同塾に来た子どもたちも「おいしいです」と口をそろえる。「安心・安全なものを作りたいですね」と2人は話す。

ゆっくりとした時間の中で、思い描いた通りの場所で暮らすお2人。「私たちはとても幸せです。今後も楽しく天草宝島暮らしを続けていきます」と笑顔で話してくれた。



▲浦川さんご夫婦手作りのログハウス

ハッピーバースデー H A P P Y
… 今月で1歳になります … B I R T H D A Y

投稿
コーナー



あんり
竹寄 杏梨 ちゃん

牛深町
父・雄介さん 母・江利香さん

望織お姉ちゃん、いつも遊んでくれてありがとう♡



きよと
田中 清斗 くん

旭町
父・一昌さん 母・麻由美さん

じいじ、ばあば大好き♡これから、たくさん遊んでね!!



あやと
本迫 彪人 くん

船之尾町
父・一記さん 母・さゆりさん

食べるの大好き♡モリモリ食べて大きくなります!



しょうき
赤星 奨希 くん

天草町下田北
父・正泰さん 母・眞奈美さん

明るく元気に育ってね。



あやな
森 絢菜 ちゃん

本町下河内
父・大樹さん 母・絵里さん

じいじ、ばあば、広瀬のばあばありがとう♡これからもよろしくね



まさと
五嶋 将人 くん

有明町須子
父・大輔さん 母・朋さん

莉子お姉ちゃんいつも遊んでくれてありがとう♡大好きだよ。



あきひ
岩崎 旭 くん

本町下河内
父・潤さん 母・あゆみさん

遥兄といっしょにすくすく成長中です♡



そうご
谷口 颯吾 くん

亀場町亀川
父・伸吾さん 母・聡美さん

新和と有明のじいじ、ばあばいつもありがとう。



みなみ
松崎 美波 ちゃん

本渡町本戸馬場
父・真輔さん 母・佳奈枝さん

じいちゃん、ばあちゃんいつもありがとう♡これからもよろしくね。

皆さんからの投稿を募集しています! ●応募期限=2月10日⑩まで(必着)。

〈3月で満1歳になるお子さん〉

●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

〈読者のつぶやき〉

●応募方法=身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、150字程度をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、電話番号を記入してください(応募者多数の場合は選考)。

※表記などを統一するため、趣旨を変えずに文章を直すことがあります。

※採用されたつぶやきは、この紙面に掲載します。

〔郵送・持参先〕〒863-8631 市内東浜町8-1(郵送の場合は住所記載不要) 天草市役所・秘書課



市長随筆

Mayor Essay

新成人の言葉に感激

新年を迎えたばかりの1月3日と4日、夏に行われる牛深地域を除き、市内9会場で成人式が行われました。

それまでの厳しい寒さも緩み、この2日間は穏やかな天候となりました。華やかな着物姿の女性や、パリッとしたスーツ姿の男性が集まり、久しぶりの再会を喜び、昔話や近況報告に花が咲いているようすを見ていると、ほほえましい気分になりました。

私も4つの会場に出席しましたが、どの会場も新成人の笑顔に包まれ、式典も厳かなうちに終了することができました。

特に印象に残ったのが、式典の中で行われた新成人の抱負の言葉でした。

1人の男性は「実家の製茶工場を継ぎ、会社化し親と経営をがんばりたい」。1人の女性は「畜産関係で地元で根ざした仕事をしたい」。また別の女性は「看護師、保健師の資格を取得し、地域の地域医療を充実させたい」と、この天草でがんばっていききたいとの言葉に胸が熱くなりました。

私は、この人口減少の中、若者が地元に残り、または帰郷し、がんばっていける環境をつくることは、今、もっとも重要であると考えています。故郷のことを真剣に考え、これからの天草を、そして日本を担っていくこの若者たちのためにも、私たちは将来を見すえたまちづくりに真剣に取り組んでいかなければならない、とあらためて強く心に誓いました。

しっかりとした新成人の姿に勇気づけられた、すばらしい成人式でした。

天草市長 安田公寛

未成年者契約の 取り消しについて

消費生活

未成年者（20歳未満の人）が、親や親権者などの同意を得ずに行った契約は、民法の規定により取り消すことができます。ただし、未成年者であっても次のようなケースで行った契約は取り消すことができませんので、注意が必要です。取り消し方法などの詳細は、市消費生活センターへご相談ください。



- ・結婚している未成年者が行った契約
- ・小遣いの範囲内で行った契約
- ・親に許可された営業に関する契約
- ・「成人である」「親の同意を得ている」と嘘をついて行った契約

【問い合わせ先】

市消費生活センター ☎ 26677

実践

暮らしのECOセトラ

リサイクルマークをご存じですか？

リサイクルマーク（識別表示マーク）は、消費者の皆さんが製品の素材を一目で判別できるようにつけられたマークです。

ご家庭にある商品の容器などに付いているかどうか、ぜひ探してみてください。また、このマークを参考にして、資源物の分別収集に引き続きご協力をお願いします。



アルミ缶



スチール缶



PET
ペットボトル



プラスチック製容器包装



紙製容器包装



紙パック



ダンボール



【問い合わせ先】

本庁・市民環境課／環境施設課 ☎ 23111



年が明け、昨年に収穫を終えたオリーブの木には、次の収穫に向けて元気になってもらうため、たい肥の散布や枝のせん定作業を行う時期に入っています。さて、市がオリーブ栽培に関する協定を締結している(株)九電工の天草オリーブ園では、昨年11月に市内のオリーブ栽培農家が収穫したオリーブの実を、初めて買い取りました。買い取られた量こそ少なかったものの、6次産業化の実現に向けて大きな第一歩であるといえます。

オリーブの実の買い取りが
初めて行われました

オリーブの島づくり

たより

同園の清田隆二事業所長による

と、同社が定めている出荷・品質基準を満たした約16キログラムの実を買い取ったとのこと。清田さんは、「今後は当社としても積極的に買い取りを行い、オリーブオイルの生産量を増やしていきたい」と話していました。

3月は、オリーブの春植えの時期です。空いている農地などがありましたら、ぜひオリーブの植栽をご検討ください。なお、園地は水はけが良く、日当たりが良いところが適しています。市のオリーブ栽培指導員が、園地選びのほかどのように植えたら作業効率がよいかなどのアドバイスをさせていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

※詳しいことは、本庁（別館）産業政策課 ☎ 23111 へ。

天草市男女共同参画センター

ぽぽらす通信

——作品の内容について教えてください

“若いうちから考える男女共同参画”をテーマにして、天草高校の歴史の中でも数少ない、女子の現・生徒会長や、食物被服部に所属する唯一の男子部員、親から「男（女）らしくしなさい」といわれた経験がある人に、インタビューを行いました。また、演劇部による男女共同参画に関する寸劇も収録しました。

——制作した感想をお聞かせください

この作品を制作してみて、知らないうちに「男（女）はこうあるべき」と決め付けていたことに気づきましたし、私も含め委員のみんなが男女共同参画について考える良い機会になったと思っています。どなたが見ても男

高校生が男女共同参画を考える

天草高校の放送委員会（福田紗生委員長ほか、委員12人）では、このほど男女共同参画に関する映像作品を制作。2月15日㊤に天草市民センターで開催される“2014天草つのでフェスタ”で上映されます（詳細はお知らせ版13ページに掲載）。

同委員会の福田委員長に、話をお聞きしました。



▲放送委員の皆さん
（福田委員長は前列左）



▲撮影のようす

女共同参画について考えてもらえるような作品になったと思います。ぜひ、皆さんに見ていただきたいです。

【問い合わせ先】市男女共同参画センターぽぽらす ☎ 23200



今月号の表紙

1月12日に倉岳町で開かれた「えびすマラソン大会」のスタートのようす。参加した1,264人のランナーは、海岸沿いのコースを快走していました(19ページに関連記事)。

編集 後記 あとぜき



地元の少年剣道クラブで行われた親子剣道大会。保護者はわが子を果敢に攻めるも、“見る”と“する”のでは大違いのようで、珍プレーが続出。保護者の「体が動かん、思うようにいかん」との声に、会場は大盛り上がりでした。【剣】



最近、納豆にはまっています。いろんな種類の納豆があり毎日食べてもあきないですね。でも、ごはんがすすむのでつい食べ過ぎてしまうことも。そんなときは運動しなければ…と思ってはいるものの寒さで動けない私です。【風】



2月7日に開幕の“ソチ五輪”。スケートのショートトラックを見るのが大好きです。目まぐるしい試合展開、最後の最後で起こるかもしれない大どんでん返し。ゴールの瞬間は、テレビの前で「クーっ！」と叫んでしまいます。【素】

市政だより
天草

【編集・発行】

熊本県天草市役所
総務部秘書課広報広聴係
〒863-8631 天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-22-7016
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>
E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp



Vol.22

コウイカ

農林水産物



コウイカが旬を迎えています。スミイカともいわれ、肉厚の身はやわらかく、ほどよい甘味とうま味が特長です。天草全域で水揚げがあります。



手軽に美味しく

さざっと
レシピ

ペスカトーレ

地元の食材がたくさん入ったパスタです。簡単にできるので、ぜひお試しください。

●材料・分量(約4人分)

スパゲティめん	…… 320g	タカノツメ	…… 1～2本
イカ	…… 100g	トマト缶	…… 2缶
タコ	…… 100g	オリーブ油	…… 大さじ3杯
エビ(大)	…… 8尾	コンソメ顆粒	…… 6g
にんにく	…… 1かけ	小ねぎ	…… 10g
		塩	…… 少々

●作り方

- ①めんをゆでる。にんにくはみじん切り、タカノツメは半分に切り種を取る。
- ②フライパンにオリーブ油を入れ、にんにく、タカノツメをこがさないようにいためる。その後、イカ・タコ・エビも入れていため、火が通ったらトマト缶を加えて煮る。仕上げに、コンソメ顆粒と塩少々を加える。
- ③めんと②を絡めて皿に盛り付け、小ねぎをちらす。

提供：市食生活改善推進員協議会